

## 議員派遣結果報告書

令和3年第4回臨時会において議決された議員派遣について、次のとおり実施したので、その結果を報告いたします。

令和3年12月9日

上富良野町議会議長 村上和子様

議会広報特別委員会  
委員長 小林啓太

記

### 件名 広報技術研修

#### 1 調査及び研修の経過

議会広報特別委員会は、議会の活動をより分かりやすく町民に知らせるための広報誌発行に関する調査研究のため、令和3年11月17日から18日の2日間、十勝管内の幕別町議会と音更町議会において視察研修した。

#### 2 調査の結果

##### 1. 研修先：幕別町議会広報広聴常任委員会

###### (1) 町の概要

幕別町は、人口26,382人（令和3年3月末現在）総面積477.68km<sup>2</sup>で、北海道十勝の中南部に位置し、北及び北東は十勝川を境にして音更町と池田町に、東は豊頃町、西は帯広市、南は大樹町と更別村に隣接している清澄で豊富な水に恵まれた土地柄である。基幹産業は、畑作物や野菜生産、酪農を主体とした経営を中心としている。北海道でも有数の農業主産地として地位を築いている。

観光・レクリエーション施設としては、パークゴルフ発祥の地として、河川緑地をはじめ、明野が丘公園などの各公園15か所にパークゴルフ場がある。

幕別町議会の組織・構成は、議員定数19名。総務文教常任委員会6名、民生常任委員会6名、産業建設常任委員会5名、広報広聴委員会6名、常設委員会として議会運営委員会8名の構成となっていた。

平成26年に「議会基本条例」を制定し、町民にわかりやすい開かれた議会を目指し、町民への情報の提供はもとより一層の町民の理解と参加を得るため、議会改革に取り組んでいた。

###### (2) 調査項目

- ・ 議会広報の作成について
- ・ 基本方針、企画の立て方、誌面構成
- ・ 一般質問の掲載内容や項目数
- ・ 広報広聴常任委員会の運営内容

・議会中継の設備等視察

(3) 調査結果

幕別町議会の広報は広報広聴常任委員会により作成され、名称は「まくべつ議会だより」で年4回の発行である。広報誌の構成は、①定例会報告、臨時会報告（補正予算、審議議案、意見・陳情、賛否議決結果）、②一般質問、③委員会レポート（常任委員会・所管事務調査）、④議会日誌、⑤次回定例会日程、⑥常任委員会クローズアップ、⑦編集後記、⑧予算特別委員会報告、決算特別委員会報告、⑨議会報告会・懇談会報告となっていた。（詳細は資料1のとおり。）

議会中継の設備等を調査するため、議場を視察した。議会運営で、本会議や委員会の公開をする手段として、インターネット議会中継を手段に取り入れていた。配信をライブ中継と録画中継により行っていて、設備の導入の経過については、平成28年3月に新庁舎建設に伴い、議会音響等システム更新を整備し、同年9月に委員会インターネット中継を試行し、平成29年より開始している。令和元年11月に議会中継システム（映像コントロール装置、映像配信装置、各種設定）を更新し現在に至っている。改修費用は、議会音響等システム更新20,682千円、インターネット中継試行1,655千円、議会中継システム更新4,524千円となっていた。

2. 研修先：音更町議会

(1) 町の概要

音更町は、人口43,831人（令和3年3月末現在）総面積466.02km<sup>2</sup>で、北海道十勝のほぼ中央部に位置し、北は士幌町、西は鹿追町及び芽室町、東は池田町に隣接している。北海道遺産に選定された「十勝川温泉」があり、世界でも希少な琥珀色の植物性モール温泉と日高・大雪連峰をはるかに望む美しい自然環境に恵まれ、四季を通じて訪れる観光客でにぎわっている。基幹産業は、広大で肥沃な大地に育まれた農業で、なかでも小麦、小豆、大豆等は作付面積、生産量ともに全国トップクラスである。

音更町議会の組織・構成は、議員定数20名。総務文教常任委員会8名、経済建設常任委員会6名、民生常任委員会6名、議会運営委員会8名、広報特別委員会6名の構成となっていた。

平成18年に「音更町まちづくり基本条例」を制定し、まちづくりに関する情報を町民みんなのものとして共有しながら、町民、議会及び町の適切な役割分担と協力によるまちづくりが進められていた。

(2) 調査項目

- ・基本方針、企画の立て方、誌面構成
- ・一般質問の掲載内容や項目数
- ・委員と事務局の編集作業の役割
- ・編集ソフト（使用ソフト名、年間費用）、議会だより発行費用
- ・議会中継の設備等視察

(3) 調査結果

音更町議会の広報は広報特別委員会により作成され、名称は「議会だよりおとふけ」で年4回の発行である。広報誌の構成は、①定例会報告、②臨時会報告、③討論、④意見書、⑤賛否一覧、⑥一般質問、⑦裏表紙（編集後記）3月定例会後は予算ハイライト、9月定例会後は決算ハイライト、12月定例会後は委員会

のうごきや会派レポートを掲載していた。(詳細は資料2のとおり。)

議会中継の設備等を調査するため、議場を視察した。議会運営で、本会議や特別委員会の公開をする手段として、平成20年よりインターネット議会中継を取り入れていた。その後、平成30年6月より約2年半にわたり庁舎耐震改修工事が行われてきたが、工事に合わせて、YouTube対応の議会中継システムを整備した。改修費用は、庁舎電気設備工事に合わせて導入し、議場の改修に伴う概算費用として33,000千円となっていた。

### 3 まとめ

#### (1) 議会だよりに関して

町民にいかに手に取って読んでもらえるかという共通の課題を抱えつつも、その課題解決にあたってはそれぞれの町でアプローチの違いが見て取れた。

幕別町議会の特徴は大きく2つあり、1つ目は、議会が何をしているのかを議長が示す方向性のもと、委員会活動の報告に誌面が大きく割かれている点。2つ目は議会そのものを身近に感じてもらおうとする取り組みである。具体的には議場を使ったコンサートを行ったり、主権者教育の一環として高校生議会を開催したりするという取り組みなどである。町民に「議場」をより身近に感じてもらい、一度足を運んでもらうということを目指していると伺った。このような活動が結果として議会だよりにより魅力的な内容を掲載することにもつながりつつ、町民に議会を身近に感じてもらえるきっかけ作りにもなっているのではないかと考える。

音更町議会は、かつてコンクールで受賞経験もあるが、その実績に胡坐をかくことなく、伝統を守りつつも細部に至るまでより良いものを作るためリニューアルを行い続けているとのことであった。町の広報とは掲載内容のすみ分けができており、町の広報で扱われた予算などの詳細な数字はあえて議会だよりでは扱わないなどの手法も伺った。また議会だよりのモニター制度を設けており、1年間の期間で高校生を含む町民から直接意見を伝えてもらう取り組みは議会だよりに対するフィードバックを受ける手法としてはとても有効なものであり、当委員会でも実施していく必要があると感じた。また全戸配布ではないという理由からではあるが、町内のスーパーやコンビニでも議会だよりを配布させてもらっており、その配布数でも議会だよりがどれだけ手に取ってもらえているかの指標にしているとのことであり、我が町でも今後検討していく必要がある問題であると感じた。

#### (2) 常任委員会化に関して

幕別町議会については議会報告会を議会として行っていくという方向性の中で、その役割を広報特別委員会で担うということをしっかきに常任委員会化されたという背景を伺った。町民と議会をつなぐ広聴活動を広く行っていくというよりは、限定的な役割であると理解した。一方で町民と議会をつなぐ取り組みとして前述の議場コンサートや高校生議会など、議会と町民の距離を近づける取り組みが行われ始めている点に関しては、広報特別委員会が常任委員会化されたことと直接的な関係はないかもしれないが、特筆すべき点であり、今後においては常任委員会であることが意味を持ってくるのかもしれないという可能性を感じた。

現在、広報特別委員として議会だよりを作成している音更町は、常任委員会になることに関しては明確に否定的であると委員全員が共有されていた。それは音更町議会だよりが目指す「中学生でも理解できる議会だより」を制作する上で、個々の議員が立場や身分を超えて自由闊達に意見を出し合える場作りを重要視するということが背景にある。これは音更町議会広報特別委員会で受け継がれてきた伝統からくる経験則であり、特別委員会ならではの会議録のないワールドカフェスタイルとなっていることでより良いチームワークが生まれ、より良い議会だよりが発行できているという委員長の説明には大いに感心させられた。委員は服装もあえてスーツではなく私服で毎回会議を行っているということであった。事実、研修視察に行った我々の目にも委員会のメンバーの関係性がとても良いこと、また議会だよりに対して深い情熱と愛情をもって毎号発行している姿勢が見て取れた。この点は今後我々が常任委員会化を行うべきか否か、またどうすればより良い議会だよりが編集できるかを考える上で大変参考になった。

## 議会発行等の比較

項目	上富良野町議会	幕別町議会
名称	かみふらの議会だより	まくべつ議会だより
発行部数	4,200部	10,527部(2021年11月発行)
発行回数	4回/年	4回/年
発行時期	4/25、7/25、10/25、2/10	6/1、8/1、11/1、2/1
予算 (R3年度)	合計1,188,968円 製版@3.2円×18頁×4,200部×4回×1.1=1,064,448円 編集ソフト使用料124,520円	合計2,537,084円 @2.3円×(24頁+22頁+24頁+22頁)×10,900部×1.10 ※編集ソフト、アドビ`クリエイティブ`クラウド`等導入を検討中
単価	@71円(1,188,968÷16,800部/年)	@58.19円(2,537,084÷43,600部/年)
委員会の設置	議会広報特別委員会として設置。 (「議会広報特別委員会設置に関する決議」を議決)	2013年まで特別委員会として編集。2014年4月に議会基本条例を施行し、議会報告会の開催を位置づけたことから広報広聴委員会を常任委員会とした。
委員会の任期	2年	2年
発行規程	上富良野町議会広報誌発行規程	幕別町議会基本条例 幕別町議会広報広聴委員会条例 幕別町議会広報広聴委員会規程
発行要領	上富良野町議会「議会だより」	発行/北海道幕別町議会 編集/議会広報広聴委員会
編集作業	委員⇒記事抽出、原稿作成、取材、写真撮影 事務局⇒記事浄書、誌面レイアウト(インデザイン、フォトショップによる)	委員⇒編集方針の決定、原稿作成、取材、校正 事務局⇒原稿依頼、記事浄書、誌面レイアウト(インデザインによる)
発行までの期間	約40日間	約60日間
広報誌の構成	①定例会報告、②臨時会報告、③質疑、④討論、⑤一般質問、⑥委員会報告、⑦意見書の提出、⑧企画記事、⑨議会の窓、⑩議会の動き、⑪(予算特別委員会報告、決算特別委員会報告)	①定例会報告、臨時会報告(補正予算、審議議案、意見・陳情、賛否議決結果) ②一般質問 ③委員会レポート(常任委員会・所管事務調査) ④議会日誌 ⑤次回定例会日程 ⑥常任委員会クローズアップ ⑦編集後記 ⑧(予算特別委員会報告、決算特別委員会報告) ⑨(議会報告会・懇談会報告)

## 議会発行等の比較

項目	上富良野町議会	音更町議会
名称	かみふらの議会だより	議会だより おとふけ
発行部数	4,200部	14,700部
発行回数	4回/年	4回/年
発行時期	4/25、7/25、10/25、2/10	5/25、7/21、10/25、1/25
予算 (R3年度)	合計1,188,968円 製版@3.2円×18頁×4,200部×4回×1.1=1,064,448円 編集ソフト使用料124,520円	合計3,267,000円 2色@3円×16頁×15,000部×4回×1.1=3,168,000円 4色@6円×1頁×15,000部×1回×1.1=99,000円
単価	@71円 (1,188,968÷16,800部/年)	@54円 (3,267,000÷60,000部/年)
委員会の設置	議会広報特別委員会として設置。 (「議会広報特別委員会設置に関する決議」を議決)	平成12年3月 第1回定例会最終日(24日)において、議会広報の編集及び調査に関することを目的として広報特別委員会を設置し、6名の委員を選任。
委員会の任期	2年	4年
発行規程	上富良野町議会広報誌発行規程	特に規程は定めていない
発行要領	上富良野町議会「議会だより」	議会だより編集方針及び基準
編集作業	委員⇒記事抽出、原稿作成、取材、写真撮影 事務局⇒記事浄書、誌面レイアウト(インデザイン、フォトショップによる)	委員⇒原稿作成、誌面レイアウト 事務局⇒原稿作成、写真撮影
発行までの期間	約40日間	定例会終了後から約25日
広報誌の構成	②定例会報告、②臨時会報告、 ③質疑、④討論、⑤一般質問、 ⑥委員会報告、⑦意見書の提出、 ⑧企画記事、⑨議会の窓、 ⑩議会の動き、⑪(予算特別委員会報告、決算特別委員会報告)	①定例会報告、②臨時会報告、③討論、 ④意見書、⑤賛否一覧、⑥一般質問、 ⑦裏表紙(編集後記) ※3月定例会後は予算ハイライト、 9月定例会後は決算ハイライト、 12月定例会後は委員会のうごきや会派レポートを掲載

